

ふるさと市原に輝く人物コーナー

作家

vol.5

「^{たての}立野^{のぶゆき}信之」展

1903(明治36)年、市原生まれ(市原郡五井町平田)。作家。

東京中学校中退。市原で文学仲間と同人雑誌を発行。

五井町役場へ就職後、佐倉歩兵連隊に入営。除隊後、軍隊生活をもとに書いた『標的になった彼奴』で作家デビュー。プロレタリア系の作家として活躍する。

1930(昭和5)年、治安維持法違反で検挙され、翌年、転向を表明。

1952(昭和27)年、『叛乱』で直木賞受賞。

1954(昭和29)年より日本ペンクラブの幹事長に就任。

1957(昭和32)年、アジア初の国際ペン大会が開催され、会長・川端康成の右腕として活躍し、大会を成功させる。その優れた手腕は、高く評価された。



立野 信之 氏

■会場

1階 郷土・行政資料展示コーナー「ふるさと市原に輝く人物コーナー」

2階 展示ケース

■展示内容

図書：『叛乱』・『軍隊病』・『流れ』・『青春物語』・『情報』等

雑誌：『週刊朝日』昭和26年2月4日号、

『市民グラフいちばら i Style』104号等

直筆原稿：「靖國神社は生きている」

開館時間中、閲覧自由 * 2階は、水・金曜日は午後5時まで

■展示期間

平成28年4月1日(金)～5月29日(日)

市原市立中央図書館

TEL0436-23-4946